

§ 10 物質的身体だけでは、腐敗し分解される。非物質的な本性（根源的生命・生命エネルギー）だけが物質的な身体に感覚・機能・自己保存の能力を付与する。

§ 11 病気と症状：病気とは生命エネルギーが乱れた状態であり、その影響が生命に対して敵対的に動的に働き、不快な感覚を身体に生じさせ、秩序に反した活動をさせるものである。しかし、この生命エネルギーの乱れは目に見えず、ただ症状としてのみ知らせている。

（注）動的（ダイナミック）な作用の例。月の引力、影響など。これらは人間の知覚能力では認識不可能である。レメディの動的な働きは感染としか言いようがない。磁石の力も感染であり、物質的なものではない。磁石が伝えるのは磁力だけであり、硬性或延性などの特性を伝えることはない。天然痘や麻疹の病気を伝えるものは精神のような特殊な影響因子である。

レメディ：精神的な根源的エネルギーに対してダイナミックで精神的に働きかけることによって人間の健康状態を変えることができるエネルギーを持った非物質的なもの。それは決して物質的なものを伝えるわけではない。

§ 12 感覚器官に知覚できる病気が現れたということは、ダイナミックな内的エネルギーが全体的に病的に乱れていることを示している。

（注）内的エネルギーが乱れた原因を問うても、役立つものは何もない。

§ 13 病気は、身体全体からも、身体のみからも、バイタルフォースからも分離することはできないものであり、隠されたものでもない。

§ 14 病気の徴候と症状で、厳密に観察する医師に知られないものはない。これは神の善意でもある。

§ 15 生命エネルギーの病的状態とその表現である身体症状は同一のものである。

それらはひとつの全体性を形成する。ただ理解しやすいように分けて考えるだけのことである。